

折に触れ 四字熟語

NO. 89 『捲土重来』 けんど ちょうらい

< 意味 > 一度敗れたり失敗したりした者が、再び勢いを盛り返して巻き返すことのたとえ。巻き起こした土煙が再びやって来ることから。

< 出典 > 杜牧 「烏江廟」

勝敗兵家不可期 勝敗は 兵家も 期す可からず
包羞忍恥是男兒 羞を包み 恥を忍ぶは是れ男兒
江東子弟多豪俊 江東の子弟 豪俊多し
捲土重来未可知 捲土 重来 未だ知る可からず

通 釈： 勝敗は（時の運であるから）いかなる名将でも予期することはできない（だから、たとえ敗れても）一時の恥辱をこらえて雪辱を期すのが、真の男児というものまして江東の若者には、すぐれた人物が多いから（項羽が江東に渡って再挙をはかり）疾風が土を巻くような勢いで再び攻め寄せてきたならば、天下の大勢はどうなったか、わからなかったのに（むりに死んでしまったのは、惜しいしだいであった）

語 釈： 「捲土」は土煙が巻き上がることで、勢いの激しいことのたとえ。「重来」は再びやって来ること。もとは一度敗れた軍が再び勢いを盛り返して攻めて来るとをいった。「捲」は出典では「卷（巻）」となっています。「けんどじゅうらい」とも読みます。

一 言： プロ野球・セリーグにおいて、広島カープがリーグ三連覇の偉業を成し遂げました。そこで、連覇、制覇、鯉、勝に関連する四字熟語を探しましたが適当な熟語が見つかりません。ご存知のとおり、カープは去年はCSで横浜 DeNA に敗れ、一昨年は日本シリーズにおいて日本ハムに負けてしばらく日本一になっていません。チームもファンも今年はリーグ優勝に浮かれることなく、ひたすらCS撃破、そして日本一を目指しているところです。捲土重来は、カープ球団、ファンの今の率直な思いを表す言葉のように考えます。

参照文献： 角川書店「中国名詩鑑賞辞典」 岩波書店「四字熟語辞典」